

環境経営レポート 55期（2023年7月21日～2024年7月20日）

永和株式会社

《ご挨拶》

永和株式会社は昭和45年創業以来、文具・事務用品、事務機器、オフィス家具用品等の卸を事業の中核に据え「地元の卸」を標榜、地元卸業界のリーダー的存在としてお得意先や仕入メーカーから絶大な信頼とご支持を頂きながら、堅実な経営過程を歩んでおります。

然るに、昨今の環境問題は企業にあっても看過することは許されず事業経営の一環として対処することが企業の命題と受け止め、次頁の環境経営方針を基に経営を展開し、地球環境に優しい企業として環境への配慮も大きな役割と捉え新たな一步を踏み出しました。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘を頂き次の環境経営に活かして行きたいと存知ます。

代表取締役 洲崎勝彦

《目次》

1. 環境基本理念・環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境経営目標とその実績	P-4
5. 環境経営の取組計画と評価	P-5
6. 環境関連法規制の遵守	P-6
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-6

1. 環境基本理念・環境経営方針

〔環境基本理念〕

永和株式会社は、文具・事務用品等を販売店様を通じて、ユーザー様にご提供する卸売商社として地球環境保全を最重要課題と考え、環境負荷の少ない地域社会の実現に向け、全社を挙げて営業活動（提案・販売・物流等）に取り組めます。

〔環境経営方針〕

1. 地球環境保全の為、環境負荷の低減を目指し二酸化炭素、総水量、事業ゴミの削減に努めます。そして資源エネルギーを効率的に利用する為、当社の目標を定め、社員ひとり一人が環境負荷の低減に寄与できるよう、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善とその実践に努めます。
2. 当社の営業活動において、主力商品である文具・事務用品等の提案時に販売店様を通じユーザー様へ、持続可能な社会を目指し、環境にやさしい商品の販売使用の積極的な推進、啓蒙に努め社会貢献を担う企業として取り組みます。
3. 環境に関する法規制や組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. この環境経営方針は本社の全従業員に周知すると共に、社外にはホームページに掲載して、その環境経営レポートを公開します。

2021年1月1日

永 和 株式会社
代表取締役 洲崎 勝彦

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

永 和 株式会社
代表取締役 洲崎 勝彦

2. 所在地

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町2丁目3番地の8

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 洲崎 勝彦

環境管理責任者 : 業務管理チーム 舩津 明史

TEL : 027-361-2031

FAX : 027-361-2045

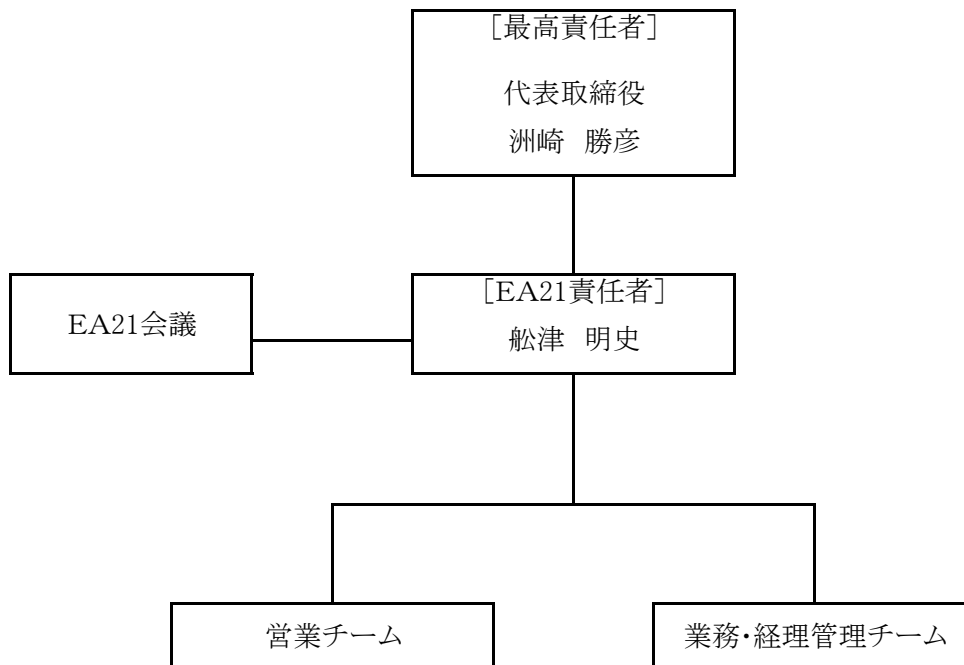
4. 事業の内容(認証・登録範囲)

文具、事務用品、事務機器、オフィス家具等の卸売
全組織・全活動

5. 事業規模

活動規模	単位	2021年度 (53期)	2022年度 (54期)	2023年度 (55期)
従業員数	人	15	14	13
延べ床面積	m ²	1,608.34	1,608.34	1,608.34

3. EA21推進体制



職 名	役 割
最高責任者	[代表取締役 洲崎 勝彦] ①環境経営方針の策定 ②代表者による全体の評価と見直し ③環境経営目標及び環境経営計画の承認 ④環境経営システム運用の為の経営資源の用意 ⑤課題とチャンスの明確化
EA21責任者	[船津 明史] ①EA21システムの確立、実施推進、維持管理 ②環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 ③EA21に関する実績把握と報告 ④環境文書及び記録の作成管理 ⑤その他、EA21に関する業務
EA21会議	メンバー: 船津 明史・石塚 武志・鈴木 貴子・洲崎 勝彦 環境経営目標の設定、環境経営計画書の策定及び進捗管理についての協議 EA21に関する審議(4ヶ月に1回)

4. 環境経営目標と次年度以降の取組

当社における53期（2021年7月21日～2022年7月20日）の環境負荷実績を基準とし、54期から56期の目標を下記のとおり定め活動する。

1. 主要な環境経営目標と環境負荷・実績

環境経営目標	53期	54期		55期		56期	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
①二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	41796	53期の実績 に対して 0.5%の削減 41587	7.3%の削減 38727	53期の実績 に対して1% の削減 41378	0.89%の削減 41422	53期の実績 に対して 1.5%の削減 41169	—
②廃棄物排出量の削減 (kg)	4686	53期の実績 に対して1% の削減 4639	4.8%の削減 4460	53期の実績 に対して2% の削減 4592	8.2%の削減 4299	53期の実績 に対して3% の削減 4545	—
③水資源投入量の削減 (m ³)	403	53期の実績 に対して 0.5%の削減 400.9	0.74%の増加 406	53期の実績 に対して1% の削減 398.9	12.65%の増加 454	53期の実績 に対して 1.5%の削減 396.9	—
④グリーン購入法、販売・提供に関する事	展示会等で販売推進の実施	仕入販売の促進	展示会等で販売推進の実施	仕入販売の促進	展示会等で販売推進の実施	仕入販売の促進	—
⑤コピー用紙の裏紙再利用とカートリッジの回収	リサイクルの確実実施	リサイクルの徹底	リサイクルの確実実施	リサイクルの徹底	リサイクルの確実実施	リサイクルの徹底	—

* 購入電力の二酸化炭素排出係数 東京電力2017年の調整後排出係数 0.462kg-CO2/kWh

※化学物質の取扱いなし

5. 環境経営計画の取組と評価・次年度の取組内容

環境経営の目標と実施計画	環境経営計画の取組み結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 『目標』 53期実績に対して1%の削減 『実施計画』	0.89%の削減となった。 目標の1%削減には届かなかった。 二酸化炭素の大半を占めるガソリンと電力で 昨年から増加してしまった。
①照明、PC電源不要時OFFの徹底	次年度の取組み内容
②エアコン清掃の実施	来期は目標達成を目指す。
③エコドライブ推進	
④社用車の点検・整備	
⑤原因分析と削減方法の検討	
環境経営の目標と実施計画	環境経営計画の取組み結果の評価
2. 廃棄物排出量の削減 『目標』 53期の実績に対して2%の削減 『実施計画』	8.2%の削減となった。 年度により変動が大きい但し今期は目標達成であった
①分別ルールの徹底	次年度の取組み内容
②廃棄物置場の整備	来期も削減を意識して取組む。
③簡易梱包の推進	
④原因分析と削減方法の検討	
環境経営の目標と実施計画	環境経営計画の取組み結果の評価
3. 水資源投入量の削減 『目標』 53期の実績に対して1%の削減 『実施計画』	12.65%の増加となった。 漏水の影響とみられるが目視で分かる箇所の 漏れはない。
①毎月のメーター確認	次年度の取組み内容
②生活用水の節水	漏水の経過を注視し削減に努める。
③原因分析と削減方法の検討	
4. グリーン購入法、販売提供に関すること	取組み結果と次年度の取組み
①グリーン商品の仕入販売促進	展示会等で販売推進の実施 次年度も継続
5. コピー用紙の裏紙再利用とカートリッジ回収	取組み結果と次年度の取組み
①コピー用紙の裏紙再利用実施	リサイクルの確実実施
②カートリッジの積極的回収	次年度も継続

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	管理内容	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬委託基準	遵法
労働安全衛生法	定期健康診断の実施	遵法
消防法	危険物の適正な取扱	遵法
道路交通安全法	登録・点検・整備	遵法
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検の実施（3ヶ月に1回）	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年8月9日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営活動の取組みとして第一に持続可能な社会を目指し活動してきました。具体的には展示会等で環境にやさしい商品の販売・使用の提案、積極的な推進。地域企業合同でのクリーン活動の参加。当然なことではありますがゴミの削減、分別やリサイクルなど社内徹底してきました。

また各個人がボランティア活動など積極的に参加することで日常から地域への社会貢献を意識してきました。

各項目の取組結果として今期は廃棄物のみの目標達成で二酸化炭素は僅かに目標達成とはなりませんでした。

水資源は大幅な増加になってしまい漏水の影響が大きいとみられます。

地球温暖化が進むなか二酸化炭素削減は特に必須であり当社もエコアクションの取組を通して出来ることを継続していきたいです。